

## 第2部 高齢化と要介護者等の現状と推計



## 第2部 高齢化と要介護者等の現状と推計

### 第1章 高齢化等の現状と推計

#### 1 高齢化の現状と推計

##### (1) 高齢化の現状

平成29年10月1日現在、総人口は1,147,447人となっており、65歳以上の高齢者人口は326,574人、高齢化率は28.9%となっています。

また、75歳以上の後期高齢者人口は160,668人、後期高齢化率は14.2%となっています。

##### ■高齢化の現状

単位：人

	総数	構成比	男	構成比	女	構成比
総人口	1,147,447	—	555,926	—	591,521	—
高齢者人口(65歳以上)	326,574	28.9%	139,545	25.5%	187,029	32.0%
65～74歳	165,906	14.7%	78,949	14.4%	86,957	14.9%
75歳以上	160,668	14.2%	60,596	11.1%	100,072	17.1%
生産年齢人口(15～64歳)	660,544	58.4%	333,339	61.0%	327,205	55.9%
年少人口(0～14歳)	144,359	12.8%	73,604	13.5%	70,755	12.1%
年齢不詳	15,970	—	9,438	—	6,532	—

※石川県県民文化スポーツ部県民交流課統計情報室「石川県の年齢別推計人口～平成29年10月1日現在推計～」

※構成比は年齢不詳を除いて算出

##### 年齢区分別構成割合



計画圏域別に65歳以上の高齢者人口の構成割合をみると、石川中央が約6割、南加賀が2割、能登中部・北部で約2割となっており、高齢化率は、能登北部の46.6%が最も高く、以下、能登中部、南加賀の順で、最も低い石川中央は25.6%となっています。

また、75歳以上の後期高齢者人口の構成割合は、高齢者数の状況とほぼ同様となっています。

## 第2部 高齢化と要介護者等の現状と推計

### ■ 圏域別年齢階層別人口

単位：人

圏域名	総人口	構成割合	65歳以上	高齢化率	構成割合	75歳以上	後期高齢化率	構成割合
県計	1,147,447	100.0%	326,574	28.9%	100.0%	160,668	14.2%	100.0%
南加賀	228,064	19.9%	66,098	29.4%	20.2%	32,573	14.5%	20.3%
石川中央	729,700	63.6%	183,661	25.6%	56.2%	86,953	12.1%	54.1%
能登中部	124,588	10.9%	46,536	37.6%	14.2%	23,951	19.4%	14.9%
能登北部	65,095	5.7%	30,279	46.6%	9.3%	17,191	26.4%	10.7%

※石川県県民文化スポーツ部県民交流課統計情報室「石川県の年齢別推計人口～平成29年10月1日現在推計～」

※高齢化率及び後期高齢化率は年齢不詳人口を除いて算出

## (2) 高齢化の推移と将来推計

介護保険制度がスタートした平成12年以降の高齢者人口等の状況は、総人口が減少していく中で、増加し続けてきた高齢者人口は2025年を境に一旦減少に転じるものの、2040年にかけて更なる増加が見込まれ、特に75歳以上の後期高齢者の比率が高まっていくと見込まれます。

### ■ 高齢者人口及び高齢化率の推移

単位：人

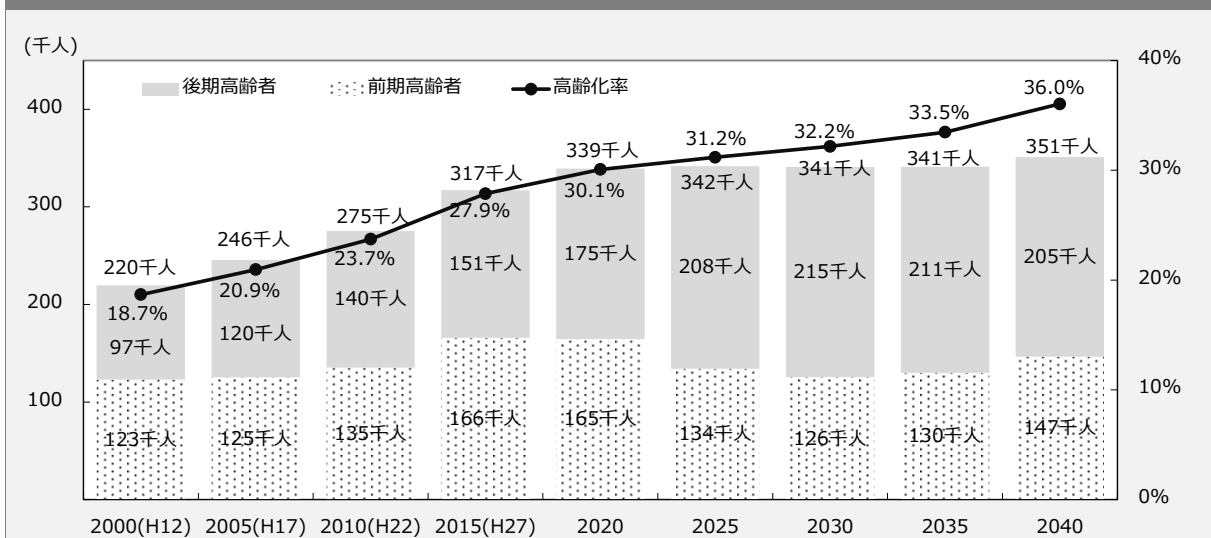
区分	2000(H12)	2005(H17)	2010(H22)	2015(H27)	2020	2025	2030	2035	2040
総人口	1,180,977	1,174,026	1,169,788	1,154,008	1,128,068	1,096,170	1,059,630	1,018,824	974,370
高齢者人口	219,666	245,739	275,337	317,151	339,199	341,797	340,839	340,974	351,106
前期高齢者	123,125	125,307	135,314	165,951	164,699	134,243	125,502	130,074	146,572
後期高齢者	96,541	120,432	140,023	151,200	174,500	207,554	215,337	210,900	204,534
高齢化率	18.7%	20.9%	23.7%	27.9%	30.1%	31.2%	32.2%	33.5%	36.0%
前期高齢化率	10.5%	10.7%	11.7%	14.6%	14.6%	12.2%	11.8%	12.8%	15.0%
後期高齢化率	8.2%	10.3%	12.1%	13.3%	15.5%	18.9%	20.3%	20.7%	21.0%

※平成12～27年は総務省「国勢調査」

※2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

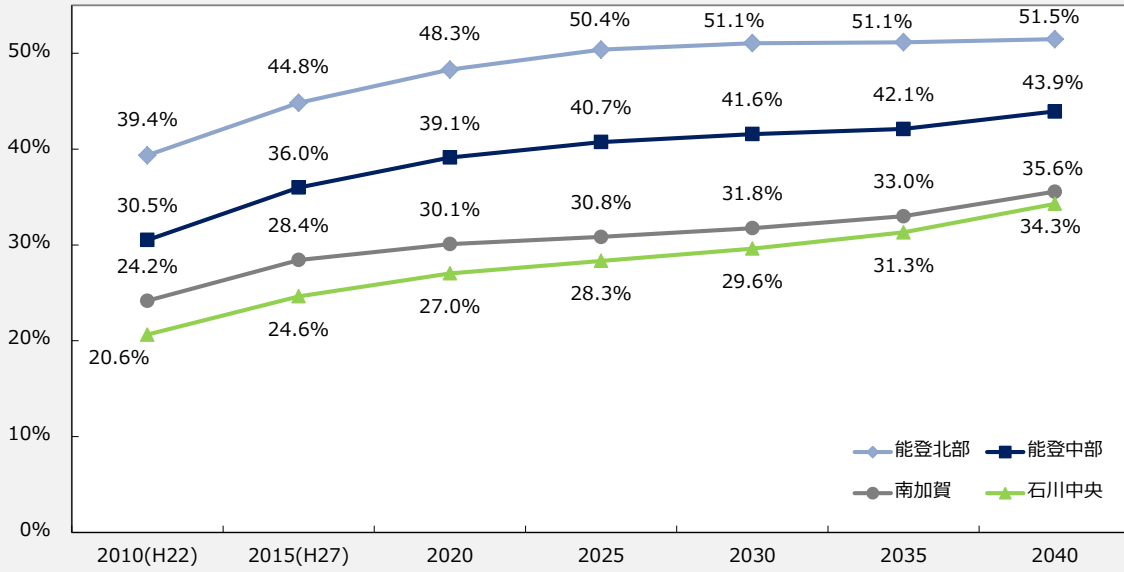
※平成12～27年の高齢化率は年齢不詳を除いて算出

### 高齢者人口及び高齢化率の推移と将来推計

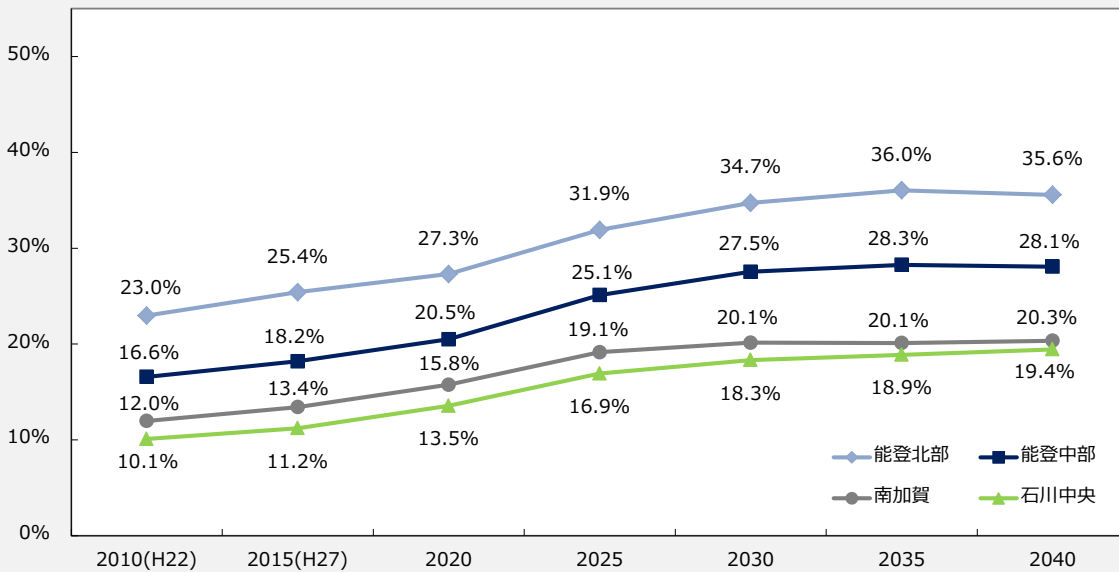


圏域別の高齢化率等の将来推計

【高齢化率】



【後期高齢化率】



## 第2部 高齢化と要介護者等の現状と推計

■圏域別の高齢者人口及び高齢化率の推移（各年10月1日時点）

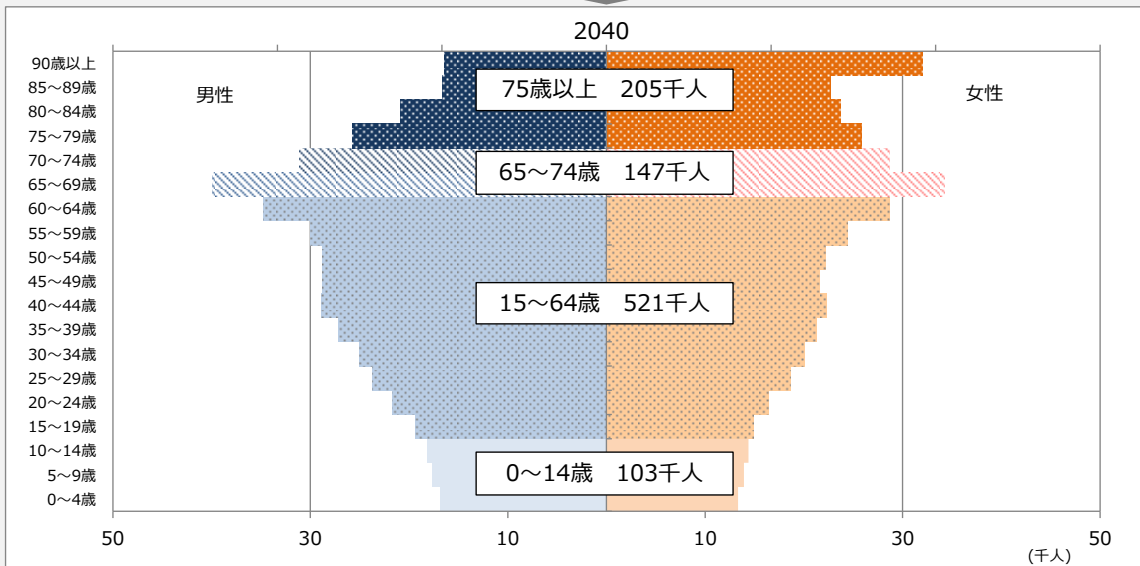
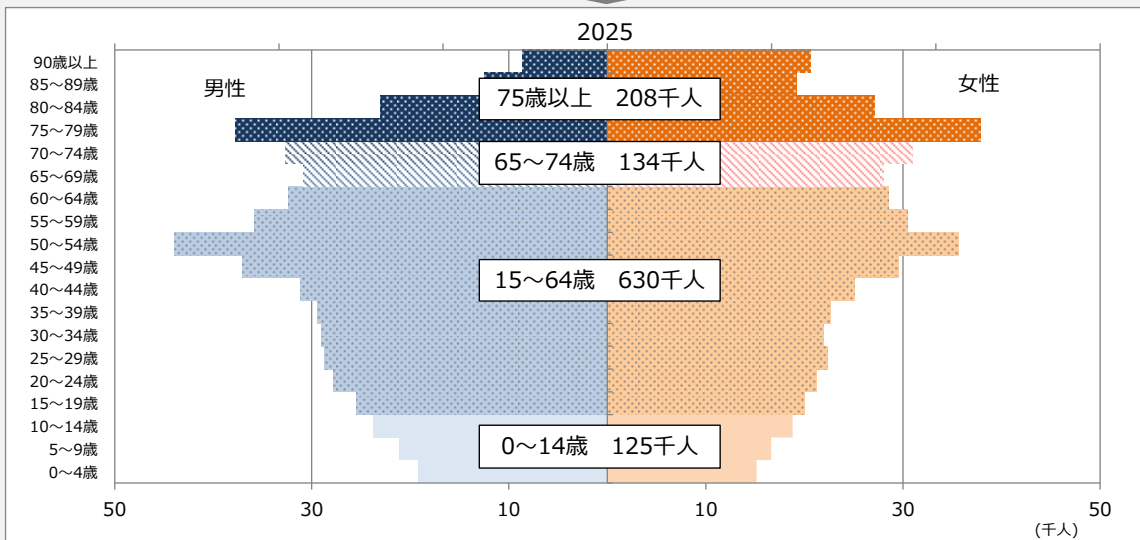
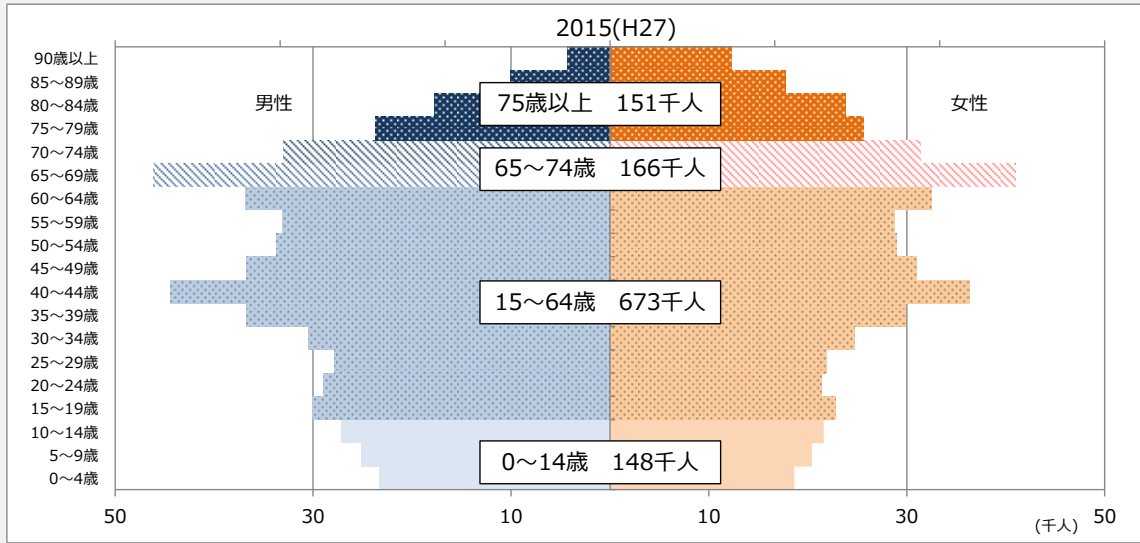
単位：人

区分	2010(H22)	2015(H27)	2020	2025	2030	2035	2040	
南加賀	総人口	235,147	229,333	225,326	218,368	210,493	201,909	192,947
	高齢者人口	56,587	64,329	67,799	67,339	66,838	66,632	68,609
	前期高齢者	28,559	33,960	32,293	25,531	24,438	26,038	29,363
	後期高齢者	28,028	30,369	35,506	41,808	42,400	40,594	39,246
	高齢化率	24.2%	28.4%	30.1%	30.8%	31.8%	33.0%	35.6%
	前期高齢化率	12.2%	15.0%	14.3%	11.7%	11.6%	12.9%	15.2%
	後期高齢化率	12.0%	13.4%	15.8%	19.1%	20.1%	20.1%	20.3%
石川中央	総人口	723,223	728,259	722,344	712,603	698,717	680,709	658,916
	高齢者人口	147,607	176,478	195,234	201,919	206,920	213,175	225,900
	前期高齢者	75,450	96,113	97,377	81,352	78,859	84,657	97,771
	後期高齢者	72,157	80,365	97,857	120,567	128,061	128,518	128,129
	高齢化率	20.6%	24.6%	27.0%	28.3%	29.6%	31.3%	34.3%
	前期高齢化率	10.5%	13.4%	13.5%	11.4%	11.3%	12.4%	14.8%
	後期高齢化率	10.1%	11.2%	13.5%	16.9%	18.3%	18.9%	19.4%
能登中部	総人口	135,960	128,221	119,397	110,893	102,374	93,958	85,618
	高齢者人口	41,474	45,798	46,711	45,179	42,553	39,558	37,612
	前期高齢者	18,951	22,644	22,229	17,327	14,360	13,000	13,573
	後期高齢者	22,523	23,154	24,482	27,852	28,193	26,558	24,039
	高齢化率	30.5%	36.0%	39.1%	40.7%	41.6%	42.1%	43.9%
	前期高齢化率	13.9%	17.8%	18.6%	15.6%	14.0%	13.8%	15.9%
	後期高齢化率	16.6%	18.2%	20.5%	25.1%	27.5%	28.3%	28.1%
能登北部	総人口	75,458	68,195	61,001	54,306	48,046	42,248	36,889
	高齢者人口	29,669	30,546	29,455	27,360	24,528	21,609	18,985
	前期高齢者	12,354	13,234	12,800	10,033	7,845	6,379	5,865
	後期高齢者	17,315	17,312	16,655	17,327	16,683	15,230	13,120
	高齢化率	39.4%	44.8%	48.3%	50.4%	51.1%	51.1%	51.5%
	前期高齢化率	16.4%	19.4%	21.0%	18.5%	16.3%	15.1%	15.9%
	後期高齢化率	23.0%	25.4%	27.3%	31.9%	34.7%	36.0%	35.6%

※平成22、27年は総務省「国勢調査」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

※平成22、27年の高齢化率は年齢不詳を除いて算出

人口ピラミッドの変化



※平成27年は総務省「国勢調査」(ただし、年齢不詳を除く)

2025年、2040年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」により作成

### (3) 平均寿命の推移

平均寿命は、平成27年で男は81.04歳、女は87.28歳となっており、昭和60年と比較すると、男は5.76歳、女は6.39歳伸びており、男女ともに全国平均を若干上回っています。

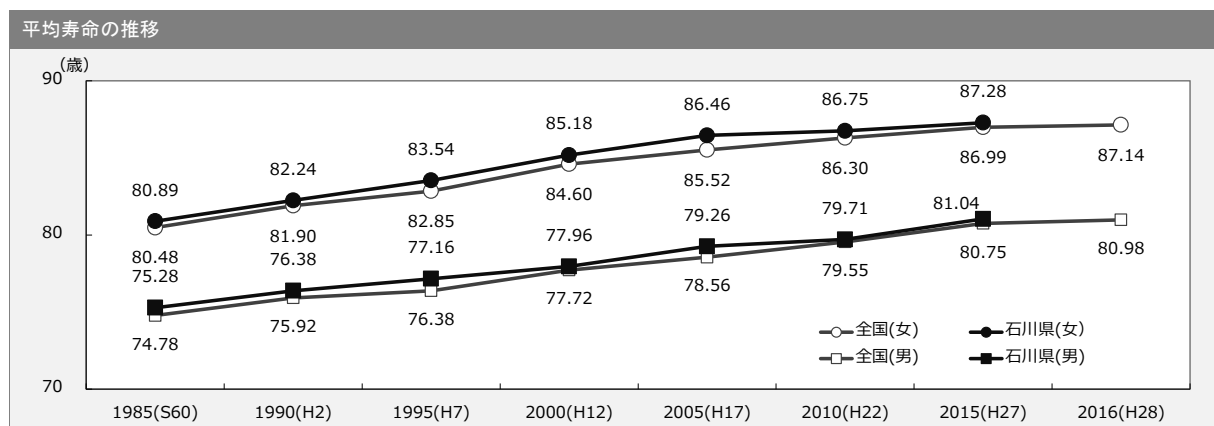
■平均寿命の推移

(単位：歳)

区分	性別	1985(S60)	1990(H2)	1995(H7)	2000(H12)	2005(H17)	2010(H22)	2015(H27)	2016(H28)
石川県	男	75.28	76.38	77.16	77.96	79.26	79.71	81.04	—
	女	80.89	82.24	83.54	85.18	86.46	86.75	87.28	—
全国	男	74.78	75.92	76.38	77.72	78.56	79.55	80.75	80.98
	女	80.48	81.90	82.85	84.60	85.52	86.30	86.99	87.14

※石川県は厚生労働省「平成27年都道府県別生命表」

※全国は厚生労働省「平成27年完全生命表」ただし、H28は「平成28年簡易生命表」による。



### (4) 健康寿命の現状

また、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」については、平成28年で男は72.67歳、女は75.18歳となっており、男女ともに全国平均を上回っています。

■健康寿命の現状

単位：歳

区分	性別	2010(H22)	2013(H25)	2016(H28)	H22比増減率
石川県	男	71.10	72.02	72.67	2.2%
	女	74.54	74.66	75.18	0.9%
全国	男	70.42	71.19	72.14	2.4%
	女	73.62	74.21	74.79	1.6%

※厚生労働省「健康日本21(第2次)」



## 2 高齢者世帯の現状と推計

### (1) ひとり暮らし高齢者の現状と推計

ひとり暮らし高齢者の数は、平成27年では約4万6千人となっていますが、2035年には約5万8千人に増加すると見込まれています。また、高齢者数に占めるひとり暮らしの割合も、平成27年の14.4%から2035年には17.1%まで上昇すると見込まれています。

#### ■ひとり暮らし高齢者数の推移（各年10月1日時点）

単位：人

区分		2015(H27)	2020	2025	2030	2035
高齢者数	a	317,151	339,199	341,797	340,839	340,974
ひとり暮らし高齢者数	b	45,787	51,307	54,286	56,456	58,384
割合	b/a	14.4%	15.1%	15.9%	16.6%	17.1%

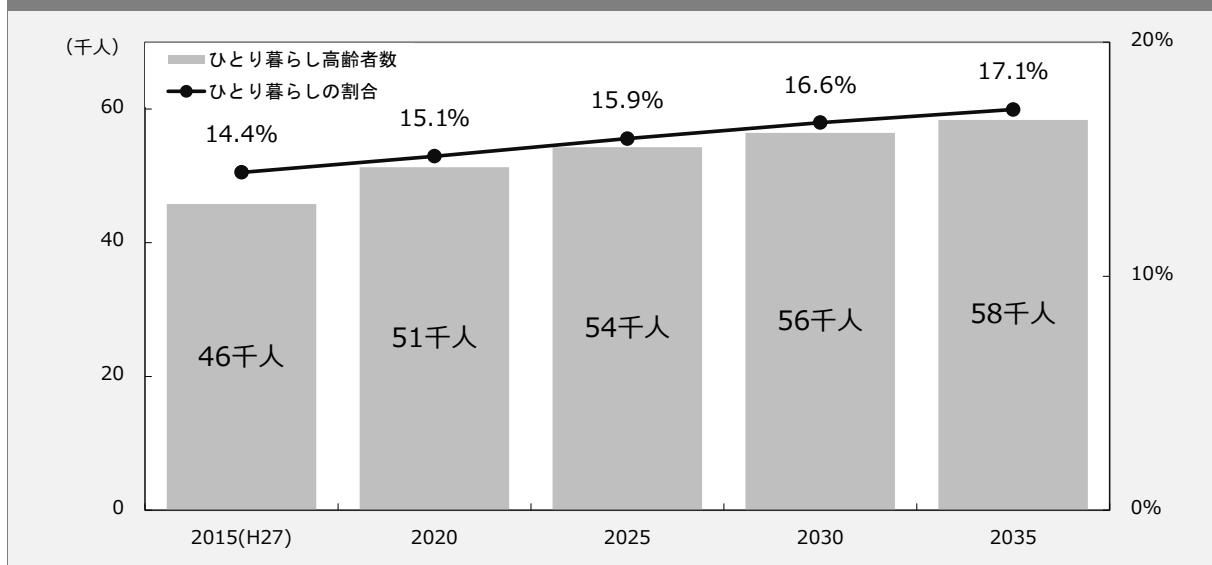
※平成27年は総務省「国勢調査」

2020年以降は、高齢者数：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

ひとり暮らし高齢者数：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」(2014年4月推計)

※「ひとり暮らし高齢者」とは、世帯主が65歳以上世帯のうちの単独世帯

ひとり暮らし高齢者の推移と将来推計



## (2) 高齢夫婦のみ世帯の現状と推計

高齢夫婦のみ世帯は、平成27年では約5万4千世帯となっており、2020年には約5万6千世帯まで増加しますが、その後は減少していくと見込まれています。

### ■ 高齢夫婦のみ世帯の推移（各年10月1日時点）

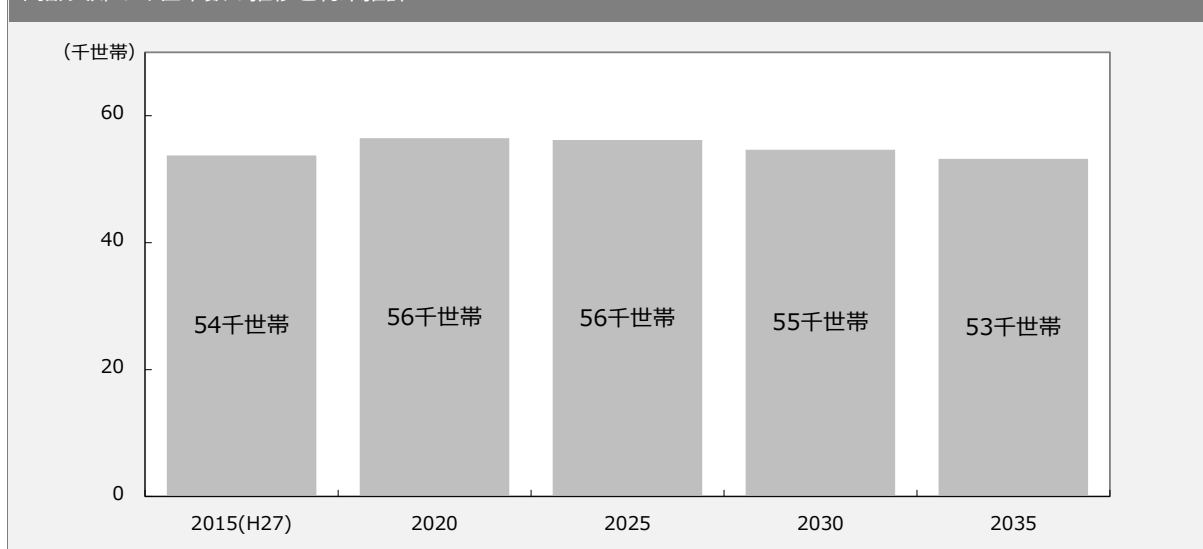
単位：世帯

	2015(H27)	2020	2025	2030	2035
高齢夫婦のみ世帯数	53,736	56,473	56,187	54,635	53,213

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」(2014年4月推計)

※「高齢夫婦のみ世帯」とは、世帯主が65歳以上世帯のうち夫婦のみの世帯

高齢夫婦のみ世帯数の推移と将来推計



## 第2章 要介護者等の現状と推計

### 1 要介護認定者の現状と推計

#### (1) 要介護認定者の推移

要介護認定者(要支援者含む)は、介護保険制度がスタートした平成12年には23,851人でしたが、平成29年には58,655人と約2.5倍に増加しています。

また、第1号被保険者(65歳以上の高齢者)に対する要介護認定者の割合(要介護認定率)は、平成12年の11.0%から平成29年には18.0%と7.0ポイント上昇しています。

平成29年度の要介護認定者の構成を年齢別に見ると、第2号被保険者(40～64歳)が1.7%、前期高齢者が10.0%、後期高齢者が88.3%となっており、平成12年と比べて、後期高齢者の割合が増加しています。また、第1号被保険者の要介護認定率を見ると、前期高齢者の3.5%に対し、後期高齢者は32.8%と約9倍となっています。

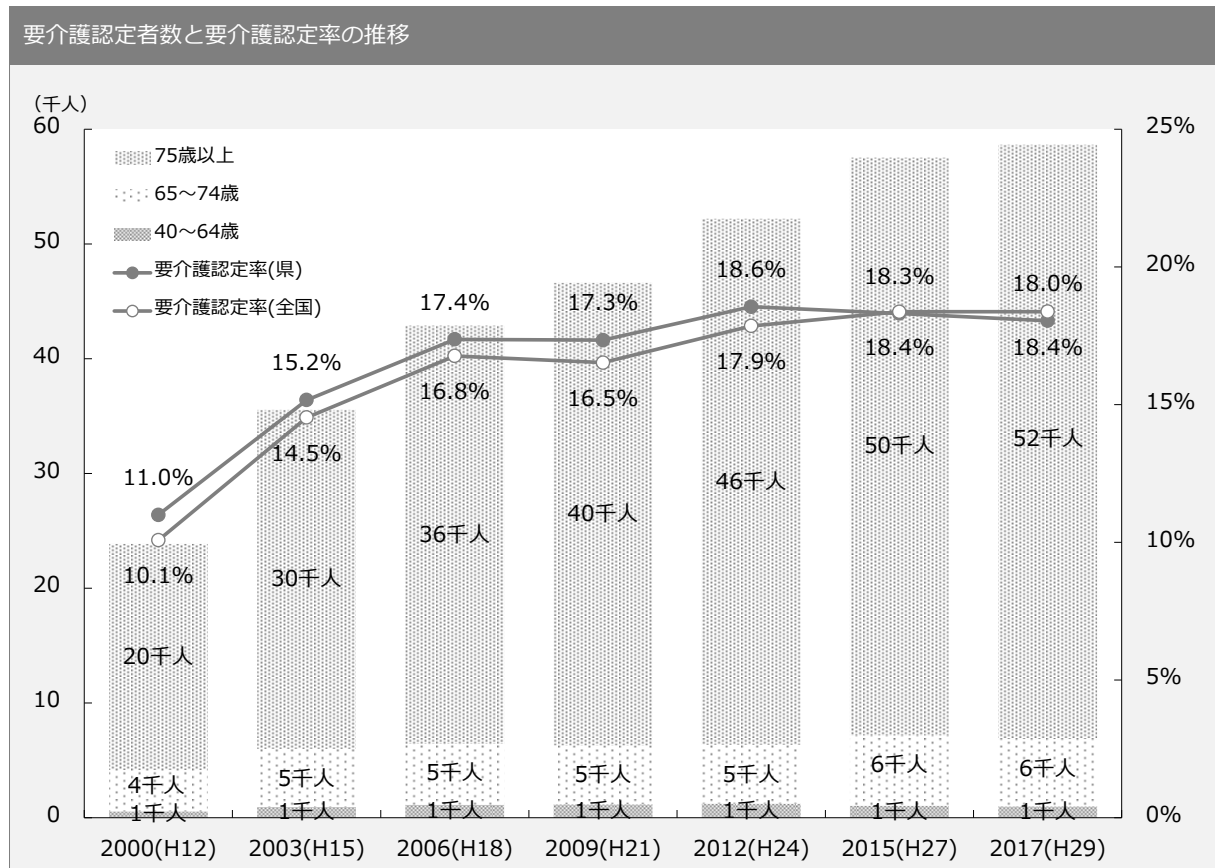
なお、本県の要介護認定率は、平成26年度までは全国平均を上回る状況で推移していましたが、平成27年度以降は全国平均をやや下回っています。

#### ■ 要介護認定者数及び要介護認定率の推移

区分	2000(H12)	2003(H15)	2006(H18)	2009(H21)	2012(H24)	2015(H27)	2017(H29)	2000比増減率
第1号被保険者 a	216,900	234,289	246,903	268,804	281,321	314,172	325,000	49.8%
うち65～74歳 b	122,773	126,480	124,933	134,339	137,507	165,149	166,999	36.0%
うち75歳以上 c	94,127	107,809	121,970	134,465	143,814	149,023	158,001	67.9%
要介護認定者数 d	23,851	35,533	42,884	46,612	52,198	57,530	58,655	145.9%
うち40～64歳 e	545	918	1,134	1,171	1,228	1,049	991	81.8%
構成率 e/d	2.3%	2.6%	2.6%	2.5%	2.4%	1.8%	1.7%	-
うち65～74歳 f	3,614	5,070	5,301	5,120	5,116	6,107	5,858	62.1%
構成率 f/d	15.1%	14.3%	12.4%	11.0%	9.8%	10.6%	10.0%	-
うち75歳以上 g	19,692	29,545	36,449	40,321	45,854	50,374	51,806	163.1%
構成率 g/d	82.6%	83.1%	85.0%	86.5%	87.8%	87.6%	88.3%	-
要介護認定率(県) d/a	11.0%	15.2%	17.4%	17.3%	18.6%	18.3%	18.0%	-
うち65～74歳 f/b	2.9%	4.0%	4.2%	3.8%	3.7%	3.7%	3.5%	-
うち75歳以上 g/c	20.9%	27.4%	29.9%	30.0%	31.9%	33.8%	32.8%	-
要介護認定率(全国)	10.1%	14.5%	16.8%	16.5%	17.9%	18.4%	18.4%	-

※厚生労働省「介護保険事業状況報告」(各年4月末現在)

※要介護認定者は要支援認定を含む。



## (2) 要介護度別認定者の推移

要介護認定者の要介護度別の構成割合を見ると、平成29年では要支援及び要介護1の軽度者は27,173人で46.3%、要介護4及び5の重度者は12,856人で21.9%となっています。

構成割合を平成12年と比べると、軽度の割合が増加し、中・重度の割合が減少しています。

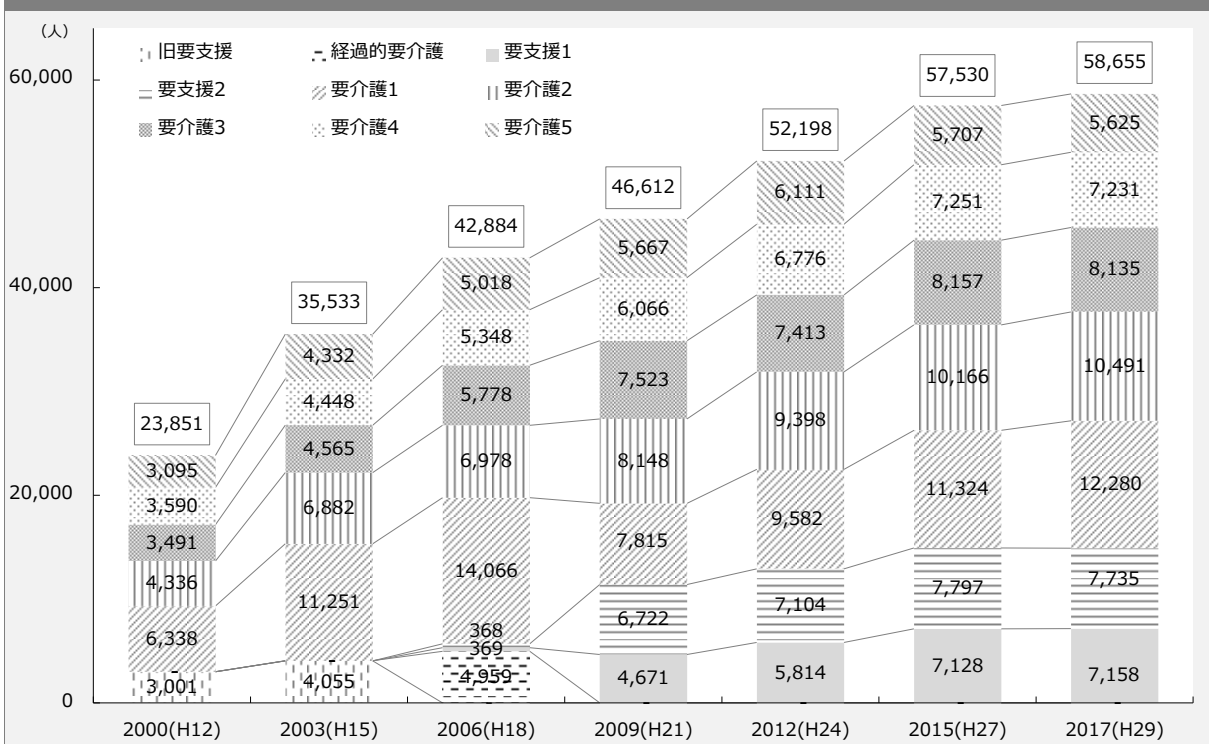
■要介護度別の認定者数の推移

単位：人

区分	2000(H12)	2003(H15)	2006(H18)	2009(H21)	2012(H24)	2015(H27)	2017(H29)	H12比増減率
第1号被保険者	216,900	234,289	246,903	268,804	281,321	314,172	325,000	49.8%
旧要支援	3,001	4,055	-	-	-	-	-	
経過的要介護	-	-	4,959	-	-	-	-	138.5%
要支援1	-	-	369	4,671	5,814	7,128	7,158	
要支援2	-	-	368	6,722	7,104	7,797	7,735	215.8%
要介護1	6,338	11,251	14,066	7,815	9,582	11,324	12,280	
要介護2	4,336	6,882	6,978	8,148	9,398	10,166	10,491	142.0%
要介護3	3,491	4,565	5,778	7,523	7,413	8,157	8,135	133.0%
要介護4	3,590	4,448	5,348	6,066	6,776	7,251	7,231	101.4%
要介護5	3,095	4,332	5,018	5,667	6,111	5,707	5,625	81.7%
合計	23,851	35,533	42,884	46,612	52,198	57,530	58,655	145.9%

※厚生労働省「介護保険事業状況報告」(各年4月末現在)

要介護度別認定者数の推移



### (3) 圏域別の要介護認定率の推移

要介護認定率を圏域別に見ると、平成29年度は石川中央18.5%、能登中部18.3%、南加賀17.0%、能登北部17.6%となっています。

また、要介護度別に見ると、平成29年度、要支援から要介護2までの比較的軽度の認定率は、最も高い石川中央が12.5%、最も低い能登北部が9.8%と、2.7ポイントの差が見られる一方、要介護3以上の比較的重度の認定率は、最も高い能登北部で7.8%、最も低い石川中央で6.0%と、1.8ポイントの差となっています。

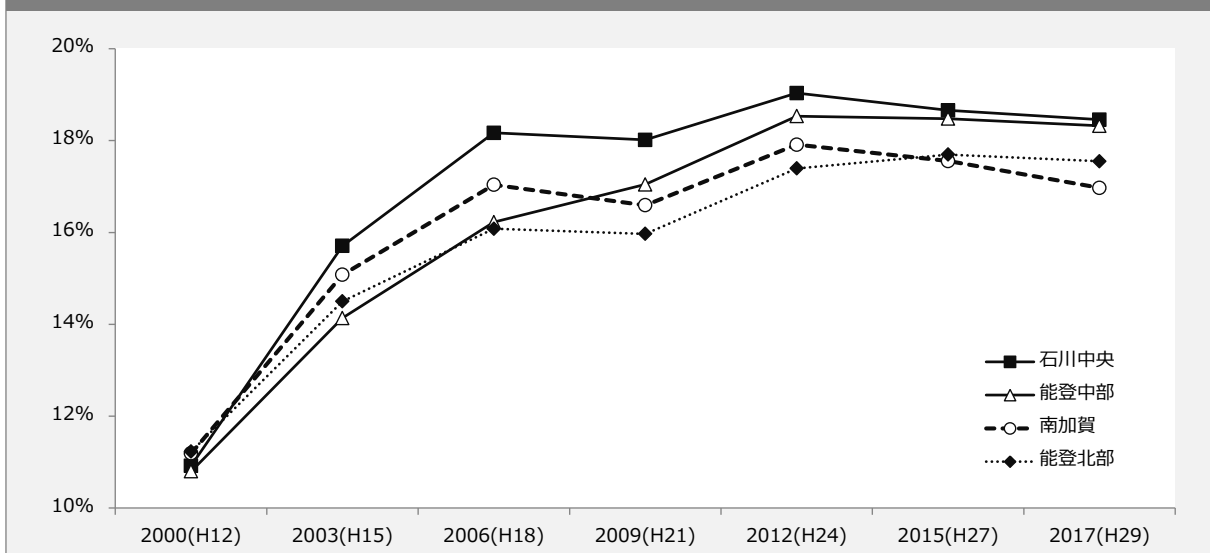
## 第2部 高齢化と要介護者等の現状と推計

■圏域別要介護認定率の推移

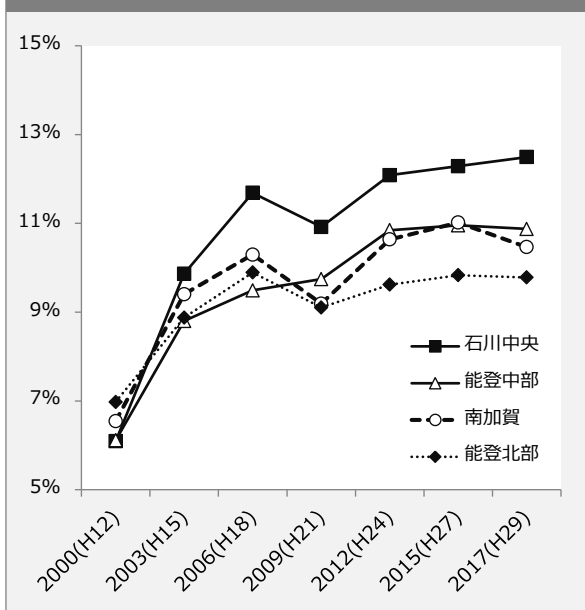
圏域	2000(H12)	2003(H15)	2006(H18)	2009(H21)	2012(H24)	2015(H27)	2017(H29)
南加賀	11.2%	15.1%	17.0%	16.6%	17.9%	17.6%	17.0%
要支援、要介護1・2	6.5%	9.4%	10.3%	9.2%	10.6%	11.0%	10.5%
要介護3以上	4.6%	5.7%	6.7%	7.4%	7.3%	6.5%	6.5%
石川中央	10.9%	15.7%	18.2%	18.0%	19.0%	18.7%	18.5%
要支援、要介護1・2	6.1%	9.9%	11.7%	10.9%	12.1%	12.3%	12.5%
要介護3以上	4.8%	5.8%	6.5%	7.1%	6.9%	6.4%	6.0%
能登中部	10.8%	14.1%	16.2%	17.0%	18.5%	18.5%	18.3%
要支援、要介護1・2	6.1%	8.8%	9.5%	9.7%	10.8%	11.0%	10.9%
要介護3以上	4.7%	5.3%	6.7%	7.3%	7.7%	7.5%	7.4%
能登北部	11.2%	14.5%	16.1%	16.0%	17.4%	17.7%	17.6%
要支援、要介護1・2	7.0%	8.9%	9.9%	9.1%	9.6%	9.8%	9.8%
要介護3以上	4.3%	5.6%	6.2%	6.9%	7.8%	7.9%	7.8%

※厚生労働省「介護保険事業状況報告」(各年4月末現在)

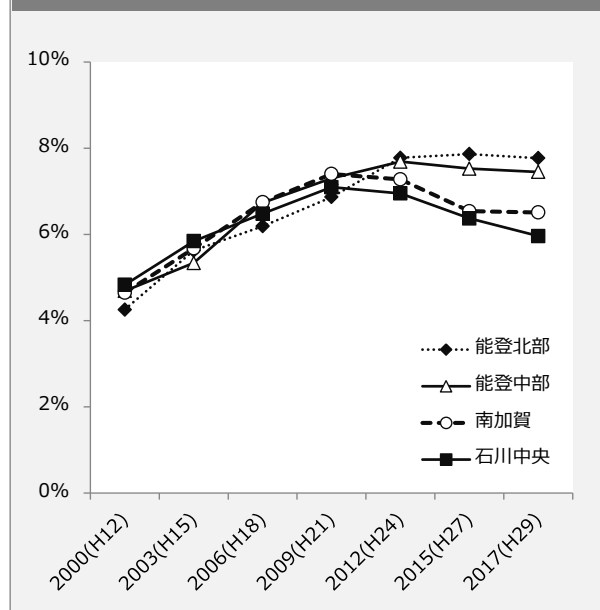
圏域別要介護認定率の推移



圏域別要介護認定率の推移【要支援、要介護1・2】



圏域別要介護認定率の推移【要介護3以上】



**(4) 要介護度別認定者の推計**

平成29年の要介護認定者数は58,063人となっており、第7期計画期間の最終年度である2020年には60,893人、2025年には67,622人と推計されています。

要介護認定率については、平成29年は17.8%で、2020年には18.3%、2025年には20.2%に達すると見込まれています。

## ■ 要介護認定者数の将来推計

単位：人

区分	2017(H29)	2018(H30)	2019	2020	2025	H29比増減率
第1号被保険者人口	326,471	329,046	331,273	333,454	334,009	2.3%
要介護認定者	58,063	58,862	59,900	60,893	67,622	16.5%
要支援1・2	13,975	13,765	13,976	14,215	15,889	13.7%
要介護1・2	22,823	23,388	23,850	24,222	26,935	18.0%
要介護3～5	21,265	21,709	22,074	22,456	24,798	16.6%
認定率	17.8%	17.9%	18.1%	18.3%	20.2%	-

※H29は介護保険事業状況報告月報（9月月報）／2018～2020年、2025年は市町報告値の集計

※要介護認定者には第2号保険者を含む

**(5) 圏域別の要介護度別認定者の推計**

圏域別に要介護認定者数をみると、能登北部を除いて2025年まで増え続ける見込みであり、特に石川中央においては急速に増加していく見込みです。

第2部 高齢化と要介護者等の現状と推計

■圏域別の要介護認定者数の推計

単位：人

圏域	区分	2017(H29)	2018(H30)	2019	2020	2025	H29比増減率
南加賀	第1号被保険者人口	66,574	66,965	67,191	67,399	66,632	0.1%
	要介護認定者	11,284	11,528	11,758	11,980	13,057	15.7%
	要支援1・2	2,358	2,403	2,453	2,501	2,708	14.8%
	要介護1・2	4,638	4,745	4,824	4,899	5,284	13.9%
	要介護3～5	4,288	4,380	4,481	4,580	5,065	18.1%
	認定率	16.9%	17.2%	17.5%	17.8%	19.6%	-
石川中央	第1号被保険者人口	181,972	184,343	186,470	188,507	193,263	6.2%
	要介護認定者	32,796	33,147	33,823	34,450	39,499	20.4%
	要支援1・2	9,062	8,732	8,858	9,003	10,419	15.0%
	要介護1・2	12,716	13,123	13,466	13,727	15,747	23.8%
	要介護3～5	11,018	11,292	11,499	11,720	13,333	21.0%
	認定率	18.0%	18.0%	18.1%	18.3%	20.4%	-
能登中部	第1号被保険者人口	47,055	47,297	47,472	47,610	46,093	▲ 2.0%
	要介護認定者	8,568	8,754	8,897	9,060	9,602	12.1%
	要支援1・2	1,594	1,648	1,689	1,745	1,829	14.7%
	要介護1・2	3,429	3,497	3,549	3,601	3,834	11.8%
	要介護3～5	3,545	3,609	3,659	3,714	3,939	11.1%
	認定率	18.2%	18.5%	18.7%	19.0%	20.8%	-
能登北部	第1号被保険者人口	30,870	30,441	30,140	29,938	28,021	▲ 9.2%
	要介護認定者	5,415	5,433	5,422	5,403	5,464	0.9%
	要支援1・2	961	982	976	966	933	▲ 2.9%
	要介護1・2	2,040	2,023	2,011	1,995	2,070	1.5%
	要介護3～5	2,414	2,428	2,435	2,442	2,461	1.9%
	認定率	17.5%	17.8%	18.0%	18.0%	19.5%	-

※H29は介護保険事業状況報告月報（9月月報）／2018～2020年、2025年は市町報告値の集計

※要介護認定者には第2号保険者を含む



## 2 認知症高齢者の現状と推計

国の推計によれば、全国の認知症高齢者数は、平成24年度時点で462万人、有病率は15%とされており、2025年には約700万人、有病率は19～20.6%に達する見込みです。

これを本県にあてはめると、県内の認知症高齢者数は、平成24年時点で約4.3万人、2025年には約6.5万人から7万人に達する見込みです。

### ■認知症高齢者数の将来推計

	2012 (H24)	2015 (H27)	2020	2025
各年齢の認知症有病率が一定の場合	43千人 (15.0%)	50千人 (15.7%)	58千人 (17.2%)	65千人 (19.0%)
各年齢の認知症有病率が糖尿病有病率の増加により上昇する場合		51千人 (16.0%)	61千人 (18.0%)	70千人 (20.6%)

※括弧は、平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「日本における認知症の高齢者人口の

将来推計に関する研究」の速報値における65歳以上高齢者の認知症有病率

※上記有病率を県内の65歳以上高齢者数に乗じて推計

なお、平成29年10月1日現在、県内の要介護認定を受けている高齢者のうち、何らかの認知症の症状を有する者は約5.2万人、日常生活に支障を来すような症状・行動などが見られる者は約4.0万人となっています。

(参考)

### ■要介護認定者に占める認知症高齢者数

単位：人

要介護度	要介護認定者 a	うち認知症自立度Ⅰ以上 b	割合 b/a	うち認知症自立度Ⅱ以上 c	割合 c/a
要支援 1	6,442	3,631	56.4%	601	9.3%
要支援 2	7,530	5,209	69.2%	607	8.1%
要介護 1	12,279	11,988	97.6%	10,553	85.9%
要介護 2	10,593	9,938	93.8%	8,370	79.0%
要介護 3	8,314	8,021	96.5%	7,281	87.6%
要介護 4	7,377	7,167	97.2%	6,700	90.8%
要介護 5	5,780	5,661	97.9%	5,486	94.9%
計	58,315	51,615	88.5%	39,598	67.9%

※石川県健康福祉部長寿社会課「日常生活自立度ランクの状況に係る調査(H29.10.1現在)」

※認知症自立度は「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」に基づく判定結果

認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランクⅠ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
ランクⅡ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

## 第3章 介護従事者の現状と推計

### 1 介護従事者の現状

厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」の結果によれば、県内の介護サービスの従事者数は、平成28年10月1日現在でのべ29,235人となっています。

■介護サービスの従事者数（平成28年10月1日現在）

職種	人数
施設長	102
医師	536
歯科医師	4
薬剤師	59
生活相談員等	1,174
うち社会福祉士	235
保健師	58
看護師	2,136
准看護師	1,211
介護職員	16,578
訪問介護員	2,941
うち介護福祉士	1,412
訪問介護員以外	13,637
うち介護福祉士	7,611
歯科衛生士	16

職種	人数
栄養士	396
うち管理栄養士	279
機能訓練指導員等	1,678
理学療法士	476
作業療法士	331
言語聴覚士	48
柔道整復師	61
あんまマッサージ師	41
看護師	398
准看護師	323
介護支援専門員	1,590
調理員	706
専門相談員	267
その他職員	2,724
合計	29,235

※厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

回答のあった活動中の施設・事業所を集計したものであり、全数ではない

常勤・非常勤にかかわらず1人として集計

通所介護において看護師が機能訓練指導員を兼務するなど、同一の者が兼務している場合、それぞれ1人として集計

## 2 介護職員の需要推計

将来の介護職員の需要について、厚生労働省から提供されたワークシートを用いて推計すると、2025年には約2万3千人の介護職員が必要となる見込みである。

### ■介護職員の需要推計結果

区分	2015 (H27)	2018 (H30)	2020	2025
介護職員の需要数	約18千人	約20千人	約21千人	約23千人

※介護人材需給推計ワークシートにより市町が推計したサービス利用者数等を基に推計

※平成27年の介護職員数は、厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(平成27年10月1日現在)の結果を、厚生労働省において調査の回収率で割り戻した補正後の数値

